

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年5月27日（月）～令和元年6月2日（日）〔令和元年第22週〕の感染症発生状況

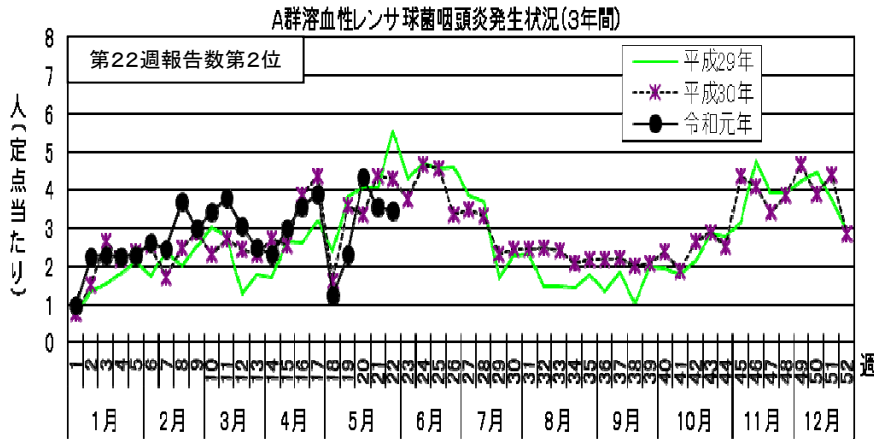
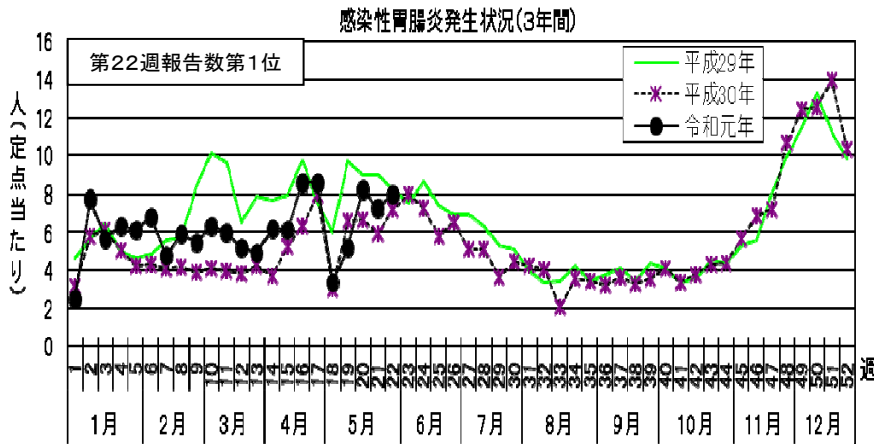
第22週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.97人と前週（7.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.46人と前週（3.57人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.89人と前週（0.67人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

★大腸菌O157★
イーコリくん



夏に向けて注意したい感染症 ～腸管出血性大腸菌感染症～

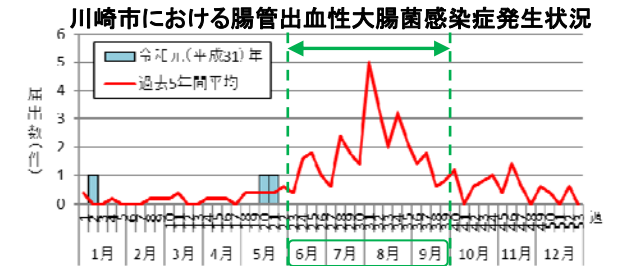
腸管出血性大腸菌感染症は、強い毒素を産生する大腸菌に感染することで発症し、頻回の水様性下痢や血便、激しい腹痛などの消化器症状を引き起こします。また、小児や高齢者は溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの重症合併症を起こすことがあるため、特に注意が必要です。例年6月から9月にかけて全国的に患者数が増加するため、予防対策を徹底しましょう。

【感染経路】

- ・ 菌に汚染された食品などによる経口感染
- ・ 患者の便を介した二次感染
- ※ 食事前や排便後などには手洗いを徹底する。

【潜伏期間】

2～14日間（平均3～5日間）



【食中毒の予防対策】

ー野菜編ー

生で食べる野菜



トマトやきゅうりなど



レタスやサラダ菜など

1枚ずつはがして

流水でよく洗う。

形が複雑な野菜



ブロッコリーやカリフラワーなど

熱湯で湯がく。

ー肉編ー



生肉は食べない。

中心温度75℃、1分間以上加熱

肉を焼く際には、専用の Tongue や箸を使う。



肉はよく焼いて食べる。